

2022年度 京機会総会・特別講演会報告

鈴木 基史 (S61/1986卒)

日時：2021年11月6日(土)
14:00-15:30 (総会)
15:40-17:00 (特別講演会)

会場：オンライン(Zoom)

<発信元：桂キャンパス>

出席者：158名



2022年度の京機会総会は2021年11月6日(土)に、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、前年度に引き続いてオンラインで開催されました。また総会に引き続いて、京都大学高等研究院院長・特別教授・森 重文先生をお招きしてオンラインでの特別講演会も開催しました。司会は、筆者(2021年度副代表幹事、2022年度代表幹事)が務めさせていただきました。



総会では、初めに野村 剛(1976)会長から挨拶があり、

1. 同学年の会員間での交流を活発化。

関西支部で企画される卒業の10年目、20年目の学年同窓会等の機会を利用してほしい。

2. 支部の垣根を越えた交流を活発化。

コロナ禍の副産物としてリモートでのイベント開催のノウハウが蓄積されてきた。各支部主催の講演会に全国から積極的に参加してほしい。

3. 大学の研究室と会員との交流の活発化




リモートでの研究室紹介の準備が進んでいる。産学交流に役立ててほしい。

という趣旨の3つの要請がありました。

続いて教室の現状報告として、機械系教室から榎木哲夫さん(1981)が本年度から工学研究科長を、北村隆行さん(1977)が本学理事・副学長を、蓮尾昌裕さん(1986)が本学理事補として活躍していることが報告されました。また、蓮尾さん

からは教室の産学連携や国際化の現状の説明や、教員の男女比率の課題などの紹介がありました。その後、本学教授の北條正樹さん(1979)が本年度定年退職されること、と新任・昇任した10名の教員の紹介がありました。

2021年の活動報告では、学生と先輩の交流会、工場見学、社会貢献への取り組みなどが、関係者の尽力によってオンライン開催されたことなどが報告されました。特筆すべき会員の活躍として、2021年8月5日に札幌で開催された東京オリンピック陸上男子20キロ競歩で山西 利和さん(2018、愛知製鋼(株))が、銅メダルを獲得されたことが改めて紹介されました。

| | |
|---|--|
| <p>4. 2021年度活動報告</p> <p>2021年 京機会総会 は、 2020年11月7日(土)に、 オンライン(ZOOM)にて開催しました。</p> <p>2021年度京機会総会</p> <p>日時：2020年11月7日(土) 14:00~16:00 会場：オンライン開催(ZOOM) 参加者：157名</p> <p>◎講演会・懇親会開催はしていません。</p>   <p>野村剛会長ご挨拶の様子</p> | <p>4. 2021年度活動報告</p> <p>★会員のご活躍</p> <p>2021年8月5日(木)、札幌で開催された東京オリンピック陸上男子20キロ競歩で山西 利和さん(2018卒、愛知製鋼(株))が、銅メダルを獲得されました。</p>  |
|---|--|

2021年度決算・監査などの議事が審議されたのち、2022年度の役員が決定されました。昨年度会長に就任された野村 剛さんが会長に留任し、引き続き京機会の活動を牽引していただくことになりました。また、活動予定として、例年実施しているイベントに加え、CD版の会員名簿を発行する予定であることが報告されました。これらの活動を実施するための2022年度の予算案も原案通り承認されました。また、学生会会長の石田尚之さん(2021、修士1回生)からは、2022年度の学生と先輩との交流会は、学生会SMILE主催により「oVice」というオンラインシステムを使った新たな内容で開催することの紹介と説明がありました。

各支部の活動については、関西支部・仲田 摩智支部長(1979)、関東支部・岡部 基彦事務局長(1998)、中部支部・伊勢 清貴支部長(1978)、中国四国支部・古屋 博章支部長(1982)、九州支部・千々木 亨支部長(1979)の皆さんから、コロナ禍の困難を、Zoom等を活用しながら各支部の特色を活かした活動の報告がありました。

最後に、コロナ禍の支部活動に貢献していただいた、河野 大輔さん(2005)、児玉 祐一さん(1996)、奥村 和雅さん(1990)、上田 悦紀(1982)に活動優秀賞が、本部主催のイベントのオンライン開催に尽力していただいた、泉井 一浩さん(1996)、澄川貴志さん(1996)、巽 和也さん(1997)、河野 大輔さんに貢献賞が授与されました。



2023年度の総会が、2022年11月5日(土)に桂キャンパスにおいて、機械系教室創立百二十五周年記念行事と同日開催されることが告知されて閉会されました。



**2023年度
京機会総会のご案内**

日時：2022年11月 5日
会場：京都大学桂キャンパス

★機械系教室創立百二十五周年記念行事と同日開催の予定です。
研究室見学、記念講演会、記念パーティを計画しています。



総会に引き続き、京都大学高等研究院院長・特別教授の森 重文先生 (<https://kuias.kyoto-u.ac.jp/j/profile/mori/>) による特別講演会が開催されました。森先生には昨年の総会後の特別講演会でご講演いただくことになっていましたが、コロナ禍



によって対面での講演会を開催することができなくなり、ご講演を1年延期していただくようにご無理をお願いしておりました。特別講演会直前の11月3日には、文化勲章を受章されたこともあり、このタイミングで森先生のご講演を拝聴する機会を得たことは、京機会会員にとって大変幸運でした。

ご講演のタイトルは、『数学:その実用性と芸術性』で、以下のような概要をいただいております。

数学はこれまで、緻密な論理の塊で近寄りたく役に立たないという印象を持たれてきた。最近、有用性が取りあげられるようになったが、楽しさや美しさについてはどう思われているのだろう。数学に長年携わってきたものとして、実は数学は役に立つばかりでなく美しいものであることを幾つかの例を挙げながらお話ししたいと思っている。絵や図は用いるが、数式は殆ど使わない予定です。

ご講演では、初めに「数学的アイデア」の実例として三平方の定理の証明のための補助線や上野駅の敷石などの話題を、「数学の役立ち方」としてMRI, 相対性理論、符合理論などの例を、「数学の研究」における手法の比較や作品の比較など、示唆に富んだご講演をいただきました。

終了後には若い会員を中心にたくさんさんの質問があり、森先生にはその一つ一つに丁寧にお答えいただきました。

最後にZoomの画面で記念撮影をして特別講演会を終了しました。

今年度の総会・特別講演会には多くの方にご参加いただき、皆様のおかげで時間通りスムーズに進行することができました。ご協力ありがとうございました。

